

# 附属中だより



令和4年2月  
第12号

## 教育長表敬訪問 2月16日(水)



創造アイデアロボットコンテスト全国大会での優勝とベスト8の報告するため、ロボコンメンバー5名(チーム飛竜:浅野泰雅さん、鈴木悠心さん、谷川友太さん、チームSHAKURA:中村優乃助さん、福澤慶太さん)がオンラインで小泉元伸教育長を表敬訪問しました。

実際にロボットを動かして工夫点などを説明した後、一人一人、教育長からの質問に答えました。教育長の「将来はどんなことをしたいですか」という質問に対して、「プログラミング関係の資格を取りたい。」(鈴木さん)「ゲームを作れるようにプログラミングをさらに勉強したい。」(谷川さん)「家事手伝いロボットをつくりたい。」(浅野さん)「趣味や経験を生かせる職業に就きたい。」(中村さん、福澤さん)と答えました。教育長からは「みなさんが優勝に輝いたことは、全国に誇れるすばらしい成果です。皆さん一人一人が自分の夢の実現に向けて、自信をもって力強く進んでもらいたい。」と激励の言葉をいただきました。表敬訪問の様子は「茨城フォトニュース」にも掲載される予定です。



## わたしたちの「SDGs」コンクール 3賞独占!

龍ヶ崎中央ロータリークラブ主催の～未来創造コンテスト～「わたしたちのSDGs」において、90もの応募作品の中、1年生の岩田美那さんがグランプリ、坂本心優さん・土屋凜花さんが準グランプリ、園田桃子さんが特別賞を受賞しました。

岩田さんは自分達ができることとして、「給食ロスの削減」を掲げ、ポスターにまとめました。坂本さんと土屋さんはMSC商品にスポットを当て、それが海洋生物に対していかに有益であるかを唱え、私たちができることをスライドにまとめました。園田さんは一人一人がどのようにしたら「明るい未来」とすることができるかを考えて作文を書きました。いずれの作品も、SDGsの趣旨を理解して提案や意見が述べられていることが高く評価されました。

2月18日に行われた表彰式では賞状と副賞が授与された後SDGsや作品に込めた思い、これからの自分自身の取組などについてスピーチしました。

このコンクールにより、身近にもSDGsにつながる取組がたくさんあることを考えるきっかけとなりました。



附属中の

3月

## ～令和4年度0学期～

中高一貫校である本校の3月は、高校の卒業式、入学者選抜と慌ただしいものになり、登校しての授業日は10日しかありません。よく、「1月にも中学校の入試で休みがあって、3月までそんなに授業日が少なくて大丈夫なの。」と不安げに質問される方がいらっしゃいます。

確かに、市町村立の中学校よりも授業日は減ってしまっていますが、週31時間授業で学年の学習内容は2月までには終了しています。また、自宅学習日はオンラインで学習状況を確認し、個別に対応できる体制を整えているため、わからなかったことをそのままにすることなく次の対面授業に臨むことができます。

3月は、今年度のまとめというよりは、次の学年の0学期という意識で教師も生徒も授業を進めています。4月に緩やかにスタートを切るのではなく、4月にジャンプするための助走期間です。進級し「さあ、気持ちを切り替えて頑張ろう。」と思える4月に、生徒一人一人が思いきり高く遠くへジャンプできるよう指導しています。



### 小学校の先生方へ

2月19日（土）に予定していた合格者説明会ですが新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンラインでの実施に変更となりました。先生方には、合格者へのご連絡をいただきありがとうございました。資料等については合格者に郵送し、説明会は26日（土）に無事終了いたしました。ご協力ありがとうございました。

また、19日に予定しておりました体操着の採寸、注文は3月22日（火）の午前中に実施する予定です。小学校の卒業式後であるかとは思いますが、ご配慮のほどよろしくお願いいたします。

本校に入学予定のお子さんは、入試を突破して中学校生活へ希望を抱きつつも、慣れ親しんだ地域や友達、今まで支えてくださった先生方のもとを離れなくてはならないという不安も大きいことと思います。本校では、一人一人のお子さんが、安心して入学できるよう努めて参りますが、何かご心配な点がございましたら遠慮なくご連絡いただければと思います。

お問合せ 0297-62-2146

(竜ヶ崎一高附属中 教頭 内川)